

登録ボランティアのみなさまへ

ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに
所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・
休会・退会のいずれかを連絡してく
ださい。確認後、必要がある人にはボ
ランティアセンター事務所（以下、事
務所）から問い合わせをする場合が
あります。登録内容に変更がある場
合は、事務所に申請書を提出してく
ださい。

個人で登録した

ボランティアの人は

事務所から活動確認を行いますの
で、2月15日（火）までに返送をお
願いします。

「なかま」を配布している人には
活動確認を行いませんので、休会や
登録抹消の意向がある場合は、その
旨を事務所へ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼
に対し、ボランティア活動をする
確認された時点で保険加入の手続
きを行ないます。活動を始められる
際は事務所までご連絡ください。

また活動をしていただくにあた
って、事務所へ依頼書と活動報告を
提出していただく必要があります。
詳細は事務所へお問い合わせく
ださい。

リーダー会議

【10月26日】

☆会長挨拶

・役員によるグループ訪問を実施

☆連絡会より

・各種助成金について

・Vセンター大掃除 11月15日

・指名委員会開催予定について

・倉庫物置ロッカーの整理について

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・窓の施錠忘れについて

・連絡会HP更新 12月21日締切り

・ボランティアサロン 12月15日

※会議後、リーダースキルアップ研
修実施 「コミュニケーションシヤ
ルワーカーとは」

【12月21日】

☆会長挨拶

・年末年始の挨拶（1頁参照）

☆連絡会より

・大阪府市町村ボランティア連絡会
「25周年のつどい」報告（3頁参照）

・河北ブロック交流会（3頁参照）

・Vセンター大掃除実施 24人参加

・指名委員会報告（1頁参照）

・ボランティア勉強会について

12月のリーダー会議後に作業&理
学療法士による講演（2頁参照）

・連絡会助成金会計研修について

2月15日（火）と22日（火）に開
催

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・令和3年度ボランティア表彰につ
いて（2頁参照）

・ボランティア登録継続確認につい
て（4頁参照）

・ボランティアサロン 2月24日
（木）（4頁参照）

・ボラセンよってつてゝ 1月19日
（水）・2月7日（月）・3月9日（水）

・人権研修 3月1日（火）

▼2年続きでコロナに振り
回された。昨秋は収束に向
かうのかと期待し始めた矢
先、新しい変異株「オミク
ロン株」の出現である。幾様にも変わ
るウイルスとの戦いは、人類の叡智が
どこまでウイルスを封じ込められるの
か、先の長い戦いがまだまだ続きそう
な気配でもある。▼江戸時代安政5年
に大坂でコレラが大流行した。当時の
薬種仲間が疫病除薬として丸薬を調合
し、少彦名神社（中央区道修町）の神
前で祈禱して患者に施した。そのとき
に合わせて「張り子の虎」を配布した
謂われが残っている。今年は寅年御利
益を願わずにはられない。（丁記）



ボランティアサロン

「ICT サポーター募集」



あなたの ICT スキルをお貸しください。
日頃から、スマホを利用しているなど、初
歩的な操作ができる ICT サポーターを募
集します。スマホやパソコンをさわるのが
好きな、あなたのスキルと一緒にボラン
ティア活動を盛り上げましょう。不定期の活
動なので、学生さんの参加も大歓迎です。
と き：2月24日（木）13時30分～
16時（受付は13時）

ところ：ボランティアセンター2階活動室
内 容：スマホ講座体験後、ボランティア
登録説明会
※登録ボランティアと一緒に体験
していただきます

対 象：市内周辺在住・在勤・在学者

定 員：5名（事前申込制）

参加費：無料

申 込：ボランティアセンター

電話：072-894-3737

FAX：072-891-3340

Mail: katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人

ボランティアセンターに
お問い合わせください

（Tel 072-894-3737）

（Fax 072-891-3340）



新年おめでとございます



=祈願=
コロナの収束
V活動の再開

希望に満ちた年を願って

会長 菊田広子

増えました。

連絡会の事業活動も一昨年の非
常事態宣言が発出されて以降、ほ
とんどの活動が休止・縮小という
事態になり、ボランティアの皆様
に大変ご迷惑をかけていますが、
ご理解・ご協力、また励ましのお言
葉等をいただき感謝しています。

各グループにおかれましても、活
動の休止・縮小に心寂しい思いの方
もおいでと思いますが、明けの夜
がないように、冬が必ず春へと向か
うように、活動再開に備え、元気に今
を精いっぱい過ごしましょう。

この一年が希望に満ちた、明るい
年になりますように願っています。
そしてボランティア並びにご家族の
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し
あげます。

本年もどうぞよろしくお願い致し
ます。

ボランティア通信 2022. 1 Vol. 247

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

コロナ禍での二度目のお正月
を迎えました。昨年は開催が案じ
られたオリンピック・パラリンピ
ックもテレビにかじりついて応
援し、多くの感動を与えてもら
いました。

秋には新型コロナウイルス感
染症の感染者数が大幅に減り、こ
のまま僅かずつでも収束に向か
えば・・・と、淡い期待も抱き
ましたが、まさかの「オミクロン
株」の拡大で、大きな不安に世界
が包まれ、まだまだ出口の見えな
い状況が続きそうで気がかりが

ボランティアグループ連絡会

次期役員選出について

令和4・5年度の役員選出を規約に則り、下記の
通り役員立候補者を募集します。候補者の自薦・他薦
は問いません。

会 長 …………… 1名
副会長 …………… 2名
書 記 …………… 1名
会 計 …………… 1名
会計監査 ……… 1名

任期 令和4年4月から2年

立候補資格 ボランティアグループ連絡会所属員

立候補締切り 令和4年1月15日（土）

届け出 ボランティアセンター事務所前の立候補・
推薦箱に投函下さい

ボランティアグループ連絡会「指名委員会」

令和3年度

ボランティア功労者表彰

令和3年度、社会福祉活動に貢献された団体・個人に送られる厚生労働大臣表彰並びに大阪府知事表彰のボランティア功労者について、長年のボランティア活動にご尽力いただきました次のお二人が個人の部で受賞されました。

厚生労働大臣表彰



今西 玲子さん

介護衣料「糸ぐるま」

大阪府知事表彰



森本 昌子さん

障がい者との交流「ほほえみ」
／外出介助「かざぐるま」

おめでとうございます。

グループ訪問



外出介助「かざぐるま」

外出介助方法のおさらい講習会

昨年コロナ禍で緊急事態宣言が発令されほとんど活動停止状態になっていました。顔を会わす機会がないまま1年以上になり、一度皆さんと交流の場を持ちたいと、10月27日グループ会議を持ちました。会員の高齢化と退会者の増加で現在11名の会員で今後の可能な活動について意見交換をしました。そして今後障がいのある方と同行することもありますので、おさらいの意味もあって一度、車椅子や視覚障がい者の外出介助方法の講習会をしようということになりました。

グループリーダー対象ミニ講演会
お互いを知り、繋がるための第一歩

12月21日、講師として、地域で訪問看護に携わっておられる作業療法士の奈良尚さんと理学療法士の大北佳之さんの2名に来ていただきました。

まずは、訪問看護やそれぞれの職種についてわかりやすく説明していただき、その後、簡単にできる体操を教えていただきながら、みんなで軽く体を動かしました。

リハビリやケアでは、運動機能の回復だけではなく、利用者のやりたいうこと、生きがいの支援も心がけていってほしいと話してくださいました。

その一つとして、ボランティア活動と繋がり、一緒に地域福祉に関わっていきましようと話してくださいました。



ボランティアセンターでミニ講座開催

専門職とボランティア、お互いに何となく知ってはいたものの、実はよくわからずにいたことが、この講演会を機に、少しでも理解することができ、一歩近づけたように思います。

この出会いを大切に、私たちの活動がより広がっていくものにしたいです。(K記)

次号発行予定
令和4年4月4日(月)

大阪府市町村ボラ連「25周年のつどい」Zoomで参加

人はひとりでは生きていけない

12月1日大阪府市町村ボランティア連絡会「25周年のつどい」Zoomが開催され、31市町村、約190人がZoomで参加しました。運営に少し手間取りましたが大きな混乱もなく進行了しました。

第一部は記念講演で元NHK福祉ネットワークキャスターの町永俊雄氏による「コロナ禍でのボランティア活動とこれからのボランティアの展望」と題した講演で、ボランティアの意義、コロナ後は道筋の見えない超少子高齢化社会のなかで日本型福祉の崩壊、格差社会(富の偏在)の到来で、誰もが安心して暮らせる社会でなく、長生きに怯える

る社会となる。誰もが安心できる環境作りにボランティアの果たす役割は大きい。人と人が手をつなぎ、弱さを他に転嫁するのではなく、孤立せずに、人の力を借りながら自立していく、依存性を認め合うこと、「人はひとりでは生きていけない」、この言葉が今後のボランティア活動のキーワードになると結ばれた。

第二部はコロナ禍でのボランティア活動について、池田市、四條畷市、大阪狭山市、熊取町の各連絡会における取り組みが報告されました。いずれも大変苦労されており、普段の活動には程遠い状況でしたが、何かをやるという熱意が伝わりました。(K記)



ボランティアセンターでZoomに参加

令和4年度版

点字カレンダー進呈

ボランティアグループ連絡会 点訳「虹の会」では、視覚障がい者向け令和4年版点字カレンダーを作成しました。ご希望される方はボランティアセンターにお申し込みください。無料で進呈します。

河北ブロック交流会 四條畷市で開催

11月17日、大阪府市町村ボランティア連絡会「河北ブロック交流会」が四條畷市立市民総合センターで開催されました。

一部は、橋本陽子さんによる「音楽リハビリ体験」と音楽紙芝居読み聞かせ「おこり地蔵」、音楽リハビリ体験は、歌を唄いながら体を動かし、心地よい体操が体験できました。音楽紙芝居は、戦争の悲惨さ・平和の大切さを訴えるものでした。

二部は、各グループに分かれて、コロナ禍でのボランティア活動の交流が活発に行われまし

た。コロナ禍で施設訪問の制限、会場の使用ができない、ボランティア同士の交流ができない等の悩みも出されました。そんな中でも、オンラインでの傾聴活動や利用者の対象を変えての物づくり活動・動画撮影・絵手紙を郵送しての交流等様々な取り組みの報告もありました。

今後もコロナ禍での活動は制限されるかも知れませんが、ボランティア同士の交流を大切に、ズーム・ラインなどで繋がり、遠くにいる人にも心を通わせるボランティア活動が必要とされるのではないのでしょうか。(M記)

グループ討論会



音楽リハビリ体験

